

教育委員会主催・淡水魚生息調査 頓別川水系生息魚関連地域向けイベント共催

子ども未来塾！なかとんべつチャレンジ教室 2020 夏 自然体験会

期 日	令和2年8月6日(木)8時30分～7日(金)10時00分
参加対象	中頓別町内在住小学3～6年生及び放課後こどもプラン参加者(小学1年生～) ※放課後こどもプラン利用者は宿泊せずに日帰り
活動場所	そうや自然学校、知駒峠
事業目的	町内の小学校に通う児童を対象に自然体験学習を展開し、地域の特性を生かしたフィールドを最大限に活用する中で、頓別川水系に生息する生き物や自然に住む動物の生態系を学び、より自然に対しての知識を深めるとともに、キャンプ体験を取り入れることで、積極性や協調性を養うことを目的とする。
スタッフ	<p>そうや自然学校 加藤・三浦 常呂川自然学校 羽根石氏 教育委員会 喜多見氏・荒井氏・石井氏・ダリン氏 大学生スタッフ 3名 放課後こどもプラン 先生方6名 合計16名 うち、宿泊対応スタッフ8名</p> <p>※今回は令和2年度淡水魚生息調査の地域向けイベントとして実施する側面もあったため、環境教育に長年携わっていらっしゃる常呂川自然学校の羽根石氏を講師に招いた(ゆうち自然学校の伊藤氏からのご紹介)。</p>
参加者	宿泊体験:17名 日帰り体験(放課後子供プラン):12名
装備	羽根石氏作成プログラムシートの必要用具に記載 その他 ライフジャケット・ブルーシート・布団シート・子どもの室内遊び用具・寝袋・テント・塩素系漂白剤、使い捨て手袋、ビニール袋、マスク、雑巾
実施報告	<p>全日悪天候及び7日に大雨警報が発令される可能性がある中での実施となったため、教育委員会と協議し、7日正午解散予定を10時解散とした。またプログラム内容も頓別川水系での魚類の捕獲・観察をメインに据えたプログラムを大幅に変更し、室内プログラムに切り替えた。※スケジュールは別紙参照。</p> <p>1日目の午前、羽根石氏に体験型水教育プログラム「プロジェクトWET」のプログラムを主に行っていたが、地球上での総論的な水の循環を学んだ。その後、今回のために羽根石氏が用意した中頓別町の立体地図を用いて中頓別町の地形を視覚的に理解し、どういった場所に河川が形成されるかをイメージした。</p> <p>午後からは午前中に学んだ地形に沿って河川が流れるイメージを確認するために実際に知駒峠展望台まで行った。悪天候で雲に覆われていたため目視で確認することはできなかったが、自分たちが住む町の地形と河川の関わりイメージを持てた様子だった。</p> <p>本来実施するはずだった川に関連した自然についての学びや遊びを展開することはできなかったが、子どもたちに中頓別町の自然や成り立ち、河川について関心を持ってもらうひとつのきっかけとなったのではと思う。</p>